

2. 蛇子平遊歩道

(1) 概 要

合併前の旧湯之谷村当時、銀山平温泉街の整備に伴い、車道（公園メンテナンスと冬場のクロスカントリー練習コース）として整備され、平常は車両通行止めの歩道として利用している遊歩道である。

この地区は、日帰り温泉「白銀の湯」を中心として、季節旅館5軒とログハウス18棟の温泉地の周辺に整備されたコースと、一部銀の道と共有する区間がある。

かつて国有地の開拓地であったが、昭和40年代に旧湯之谷村に移管され、約30haの村有地を官民共同で開発し、現在は周辺を含め銀山平森林公園として5軒の管理組合が白銀の湯・ログハウス・森林公園を管理している。

地形は西側に日本百名山越後駒ヶ岳、二百名山中ノ岳、南に二百名山荒沢岳、東側には日向倉山がそびえたち2千メートル級の山岳に囲まれ、北ノ又川の河岸段丘で平坦な地形で、春夏秋冬美しい景観を有している。

起点石抱橋から上流の北ノ又川は、奥只見ダムから遡上して産卵する大イワナとサクラマス種の種川として、資源保護のため永久禁漁区に指定されている。

新緑や紅葉の季節には写真撮影やスケッチに訪れる観光客も多い。

銀の道と蛇子平遊歩道の起点である石抱橋のたもとには、魚沼漁業協同組合の魚の監視小屋と、作家開高健の顕彰碑がある。

この顕彰碑「川は眠らない」は今では銀山平の自然保護活動のシンボルになっている。

今後は、植物、野鳥、動物や魚類の自然観察遊歩道として、一般の観光客や都会の自然体験学習に訪れる学校の利用増加が見込まれている。

(2) 遊歩道の現況

起点から北ノ又川左岸銀の道分岐点まで、そこから橋を渡り右岸河岸段丘を上流側に進み、一周して白銀の湯駐車場が終点となる。

延長 : 3.35Km

幅員 : 3.0m~5.0m 起点石抱橋~銀の道分岐点 : 幅員4.0m 昔の林道
左岸への旧林道の橋 幅員3.0m
上流へ向かって温泉地 幅員5.0m
公園内クロスカントリーコース 4.0m

標高差 : 起点780m

最高828m

終点792m

標高差、最低最高で48m 平坦な地形。

注意点 : 左岸と右岸を結ぶ旧林道の橋も下流側欄干が雪庇で破損して無くなっている。転落防止柵を設置することになっているが、注意が必要である。

景観 : 起点周辺、及び、橋の上からは北ノ又川の清流を見ることができる。河岸段丘の上では、越後駒ヶ岳、中ノ岳、荒沢岳を見ることができる。



蛇子平遊歩道 起点 開高健の顕彰碑 (銀の道共有区間)



分岐点から橋を渡り右岸蛇子平へ（橋の安全柵が必要）



左が蛇子平遊歩道、右が銀の道 分岐点



森林公園のクロカンコース（遠方は中ノ岳）